UHFアンテナ（家庭用）

UHF ANTENNAS

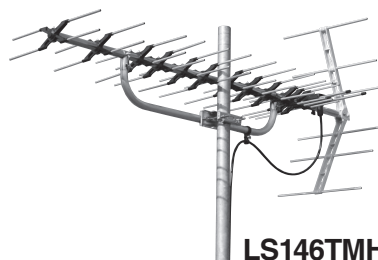
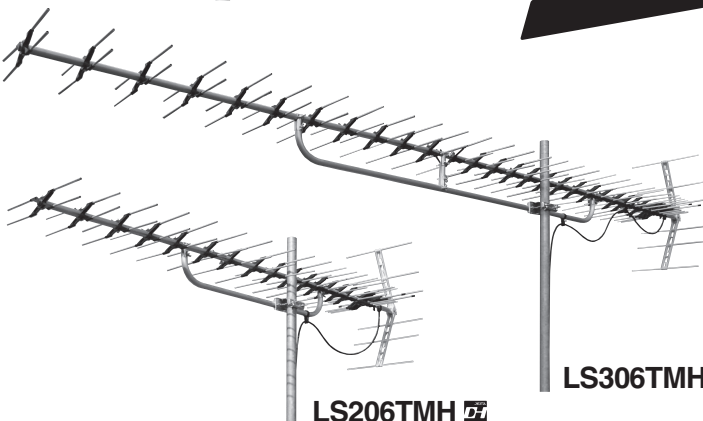
UHF ch.13〜34

LS146TMH 微弱電界地域用（14エレメント）
LS206TMH 微弱電界地域用（20エレメント）
LS306TMH 微弱電界地域用（30エレメント）

取扱説明書

75Ω用（F型端子）

水平・垂直偏波用

ラブストーリー

●電波の著しく弱い場所では受信できません。
●障害物があり、見通しの悪い場所では受信できないことがあります。

このアンテナに接続ケーブルは付属していません。
必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。

付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）…………… 1個
防水キャップ…………………………………… 1個

MASter of PROduction 生産の覇者

安全上のご注意　ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は、注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。

 ⃠記号は、禁止の行為を示しています。

 ●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

⚠警告

 ●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

●雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。
●腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。

●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
●アンテナの取付け・支線張りなどの作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
●アンテナや取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナや取付金具、マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損、変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
●感電防止のため、アンテナは電線（電灯線、高圧線、電話線など）からできるだけ離れた場所に設置してください。
●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。

 ●アンテナを高所や屋根に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

組立方法

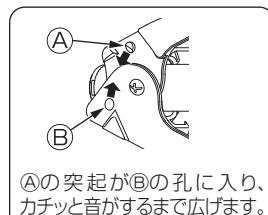
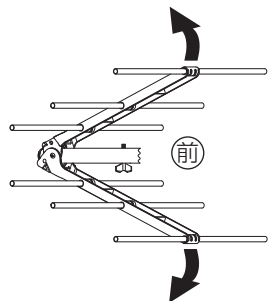
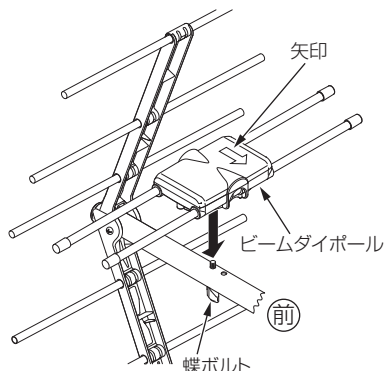
垂直偏波を受信する場合、p.4「**垂直偏波を受信する場合**」もご覧ください。

ご注意

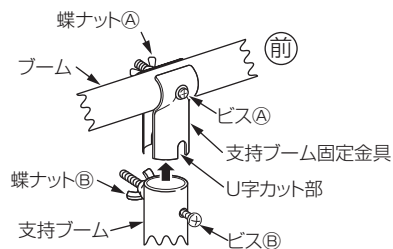
- ●マストは垂直に建ててください。　●マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- ●しっかりと取付けるために、全ての蝶ナットは、工具を使用して、指定のトルクで均等に締付けてください。
- ●インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。蝶ナットやボルトの変形や破損の原因となります。

コーナーリフレクターの広げ方

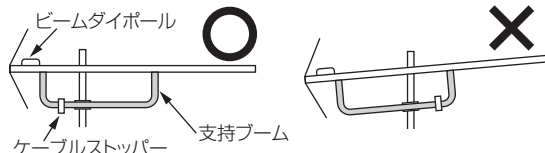
アンテナ後方に付いているコーナーリフレクターを上下に広げます。

Ⓐの突起がⒷの孔に入り、カチッと音がするまで広げます。

ビームダイポールの取付方法

① アンテナ後方に付いている蝶ボルトで、ビームダイポールを取付けます。（矢印⟹を㊒側にしてください）
② 蝶ボルトを指定のトルクでしっかりと締付けます。
●締付けトルク 1.3N·m(14kgf·cm)

支持ブームの取付方法

① 支持ブーム固定金具を固定している蝶ナットⒶをゆるめます。
② 支持ブームに付いている蝶ナットⒷをゆるめ、ビスⒷの頭を引き出します。
③ 支持ブーム固定金具のU字カット部にビスⒷを挿入します。
④ 蝶ナットⒶ·Ⓑをしっかりと締付けます。
●締付トルク 2.5N·m(26kgf·cm)

ご注意

支持ブームは、ケーブルストッパーがビームダイポールの近くになる向きに取付けてください。

ディレクター
（p.3「**ディレクターの固定について**」をご覧ください。）

前

LS306TMH

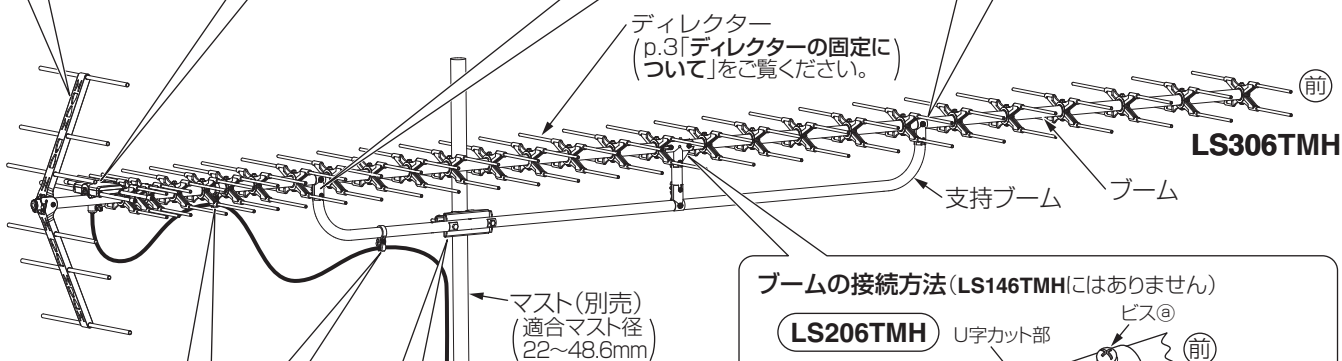
支持ブーム
ブーム

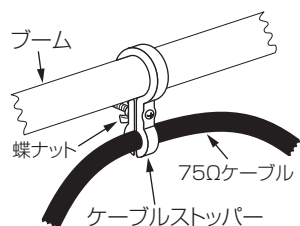
マスト（別売）
（適合マスト径 22~48.6mm）

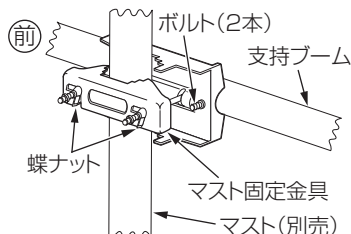
ブームの接続方法（LS146TMHにはありません）

LS206TMH

LS306TMH

① ブーム接続金具を固定している蝶ナットⓐをゆるめます。
② ブームに付いている蝶ナットⓑと、支持ブームに付いている蝶ナットⓒをゆるめ、ビスⓑ·ⓒの頭を引出します。（**LS206TMH**には、蝶ナットⓒとビスⓒはありません）
③ ブーム接続金具のU字カット部にビスⓑ·ⓒを、それぞれ図のように挿入します。
④ 蝶ナットⓐ·ⓑ·ⓒをしっかりと締付けます。
●締付トルク 2.5N·m(26kgf·cm)

ケーブルストッパーでのケーブル固定方法

ケーブルストッパーを下向きにして、75Ωケーブルを取付けます。
（**LS146TMH**、**LS206TMH**は、ブームにケーブルストッパーは付いていません。）

断線·性能低下を防ぐため、75Ωケーブルは、ケーブルストッパーで固定してください。ケーブルは、蝶ナットをゆるめて取付け、再度、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

マストへの取付方法

① マスト固定金具の蝶ナット（2個）をゆるめ、アンテナをマストに差込みます。
② マスト固定金具の蝶ナット（2個）を指定のトルクで締付けます。
●締付トルク 7N·m(72kgf·cm)

ご注意

水平偏波を受信する場合は、ボルトをゆるめないでください。

F型コネクターの取付

別売の75Ωケーブルに付属のF型コネクターを取付けます。確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

●接触不良やショートを防ぐため、コネクターはていねいに取付けてください。
●75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
●付属のF型コネクターは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクターをお使いください。

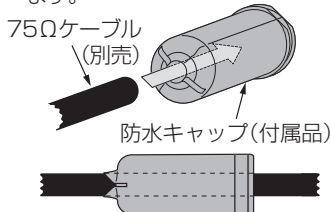
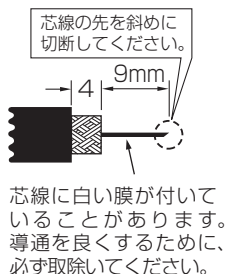
<アンテナ側>
付属のF型コネクターを取付けます

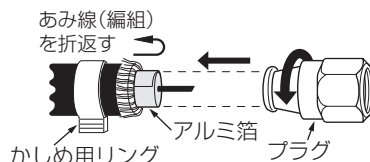
<接続する受信機側>
別売のF型コネクターを取付けます

1 ケーブルを付属の防水キャップに通す

別売の75Ωケーブルで、防水キャップの薄い部分を突き破ります。

2 ケーブルを加工する（加工寸法は原寸大です）

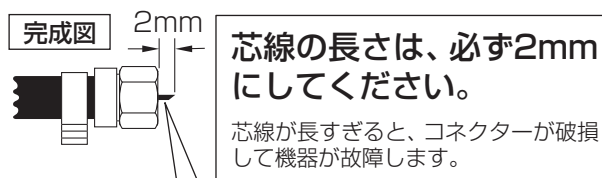
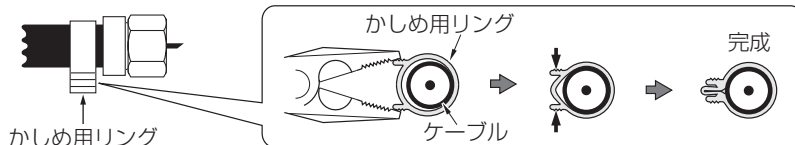
芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために、必ず取除いてください。

3 プラグを取付ける

① かしめ用リングにケーブルを通します。
② あみ線（編組）を折返します。
③ プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押し込みます。

あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線（編組）やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。

4 かしめ用リングをペンチで圧着する

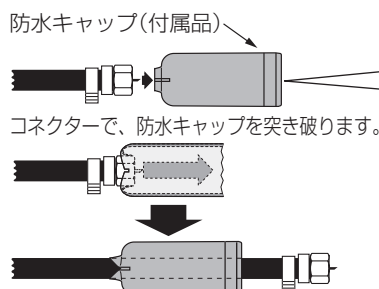
コネクターが抜けないように、しっかりと圧着します。

完成図

芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクターが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

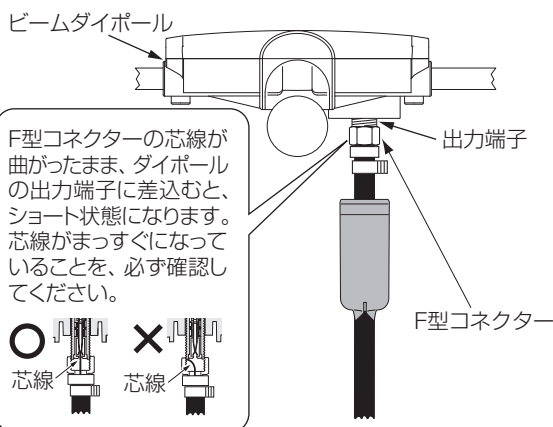
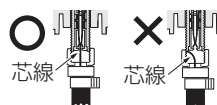
コネクター取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます

⚠注意

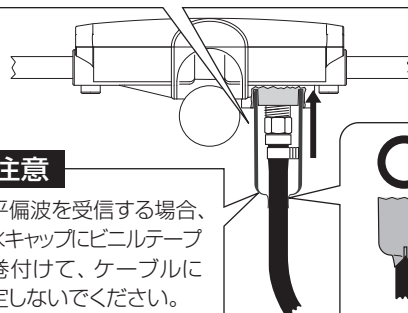
防水キャップを突き破ったときに、コネクターの芯線が目や指にささらないように注意してください。

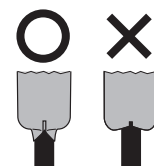
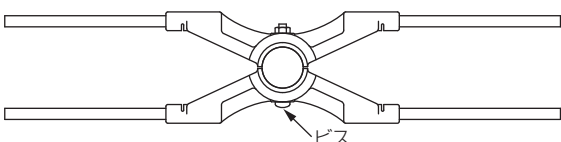
ケーブルの接続

75Ωケーブルをビームダイポールの出力端子に接続します。

1 F型コネクター（防水キャップを通した側）を、ビームダイポールの出力端子に接続し、11mmのスパナで締付けます。

●締付トルク 2N·m（21kgf·cm）

2 防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込みます。

●防水キャップは確実に押し込んでください。
●防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

ご注意

水平偏波を受信する場合、防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

ディレクターの固定について

ディレクターを固定しているビスを直接締付けたり、ゆるめたりしないでください。特殊なビスのため、ディレクターが破損、脱落する原因となります。

垂直偏波を受信する場合

垂直偏波を受信する場合に行なってください。
マスト固定金具以外の組立方法は、p.2「**組立方法**」をご覧ください。

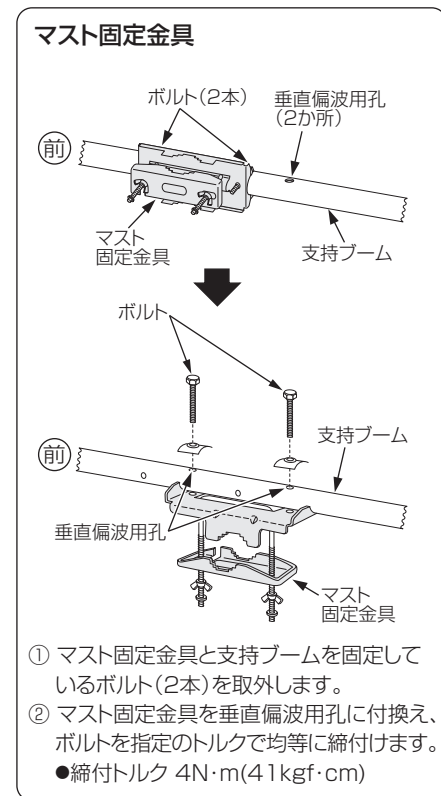
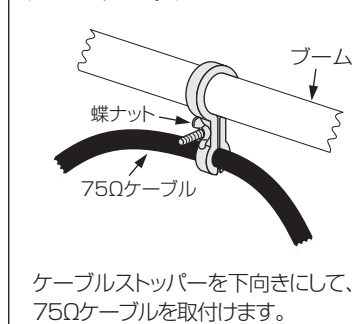
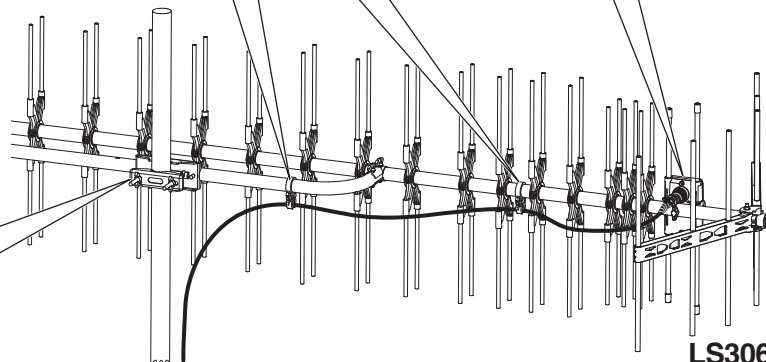
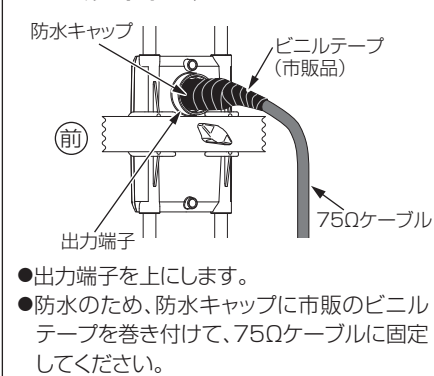
マスト固定金具

① マスト固定金具と支持ブームを固定しているボルト（2本）を取外します。
② マスト固定金具を垂直偏波用孔に付換え、ボルトを指定のトルクで均等に締付けます。
●締付トルク 4N·m(41kgf·cm)

ケーブルストッパー

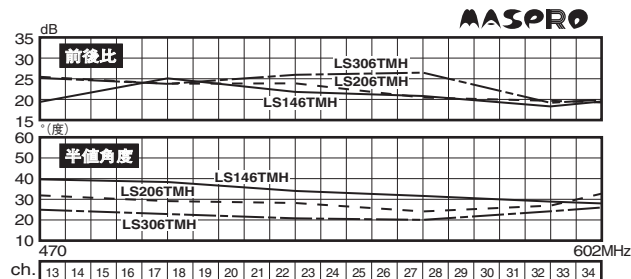
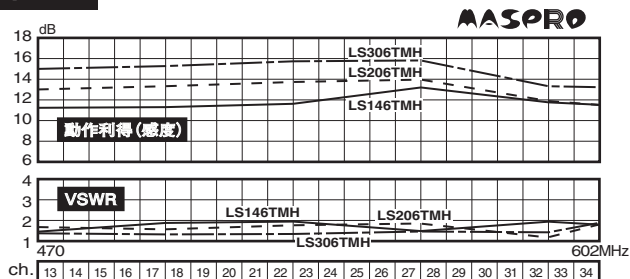
ケーブルストッパーを下向きにして、75Ωケーブルを取付けます。

ビームダイポール

●出力端子を上にします。
●防水のため、防水キャップに市販のビニルテープを巻き付けて、75Ωケーブルに固定してください。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items	LS146TMH	LS206TMH	LS306TMH
受信チャンネル Reception Channels	ch.13～34		
エレメント数 Number of Elements	14	20	30
動作利得（感度） Antenna Gain	11～13.5dB	11.2～14.2dB	12.9～16dB
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.5以下		
前後比 Front to Back Ratio	18～27dB	18～28dB	18～28dB
半値角度 Half Power Beam Width	25～43°	22～35°	18～28°
インピーダンス Impedance	75Ω（F型コネクター）		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃		
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter	22～48.6mm		
外観寸法 Dimensions	1170(L)×390(W)×544(H)mm	1870(L)×410(W)×544(H)mm	3045(L)×410(W)×544(H)mm
質量（重量） Weight	約1.6kg	約2.1kg	約3kg

性能

製品向上のため　仕様・外観は変更することがあります。

＝マスプロ電工＝

本社　〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談
ナビダイヤル 0570-091119
固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP·PHS（ナビダイヤルが利用できない）電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時（土·日·祝日、当社休業日を除く）
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店·営業所にお問合わせください。

支店·営業所
通　信(ビ) (03)5485-0570
首都圏(シ) (03)3499-5632
西日本(シ) (082)230-2359
北日本(シ) (022)786-5062

福　岡(支) (092)524-7600
沖　縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮　崎 (0985)25-3877
熊　本 (096)381-7626
長　崎 (095)864-6001
北九州 (093)941-4026

広　島(支) (082)230-2351
松　江 (0852)21-5341
岡　山 (086)252-5800
松　山 (089)905-7017
高　知 (088)882-0991
高　松 (087)865-3666

大　阪(支) (06)6233-2322
姫　路 (079)283-2300
京　都 (075)646-3800

名古屋(支) (052)802-2233
津 (059)234-0261
岐　阜 (058)275-0805

豊　橋 (0532)57-2522
浜　松 (053)468-5020
静　岡 (054)283-2220
松　本 (0263)57-4625
福　井 (0776)23-8153
金　沢 (076)261-0155

東　京(支) (03)3409-5505
新　潟 (025)287-3155
横　浜 (045)664-4551
八王子 (042)637-1699
千　葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前　橋 (027)263-3767

水　戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)636-1210

仙　台(支) (022)786-5060
郡　山 (024)952-0095
盛　岡 (019)641-1500
秋　田 (018)862-7523
青　森 (017)742-4227
札　幌 (011)782-0711
釧　路 (0154)23-8466
旭　川 (0166)25-3111

（ビ）：ビジネスグループ
（シ）：システム営業グループ

MASter of PROduction 生産の覇者

2K56-810
B(TK) 43-5810-1T
MAR., 2014